



「利他の精神で子どもが高め合い、地域と共にある学校」

～ 一人ひとりのWell-being (幸せ) の実現を目指して ～

常盤北小だより

令和8年4月28日

第2号

さいたま市立常盤北小学校

何のための運動会か

校長 中田 清人

私は、毎朝、子ども達とあいさつして目が合うと、「ああ、心が通ったな」と感じてうれしくなります。それには、「おはようございます」でも「じゃんけん、ポン」でも何でもいいんです。心が通うと、その子の一日の幸せを願わずにはいられません。私は、特に信心深いわけではありませんが、そんなときは、自然と「どうか、この子が素敵な一日を過ごせますように」と祈る自分に気付くのです。私は、本校の子ども達が大好きです。私は、子ども達が通うこの常盤北小学校を、よりよい学校にしていきたいと思っています。

4月の始め、私は本校の教職員に次のような話をしました。大まかには次のような話です。

- 私は、常盤北小学校を純粋に「よい学校」にしたいと考えています。
- 目指す児童像は「希望を持ち、未来に向かって、学び合い、高め合う子」です。いかに子どものやる気に火をつけるかが大切だと考えています。
- 目指す教師像は「目標達成に向け、ベクトルを合わせ、共同・協働ができる教師」です。特に、「ベクトルを合わせ」という部分が重要と考えています。方向性を合わせることができないと、ゴールにたどり着けません。
- 学校経営方針は、子ども、保護者、教職員の三方よしの経営方針(※)です。
※ HPでグランドデザインをご覧ください。
- 方針1は、「何のために行うのか」という視点を常にもっていただきたいと思います。これがはっきりしない活動は行わないというのが私のポリシーです。先生方は、その活動をするのはどうしてなのかを、説明できなくてはならないと思います。
- 方針2は、学校における判断基準を、利他におくということです。私利私欲で判断してはなりません。
- 方針3は、安全第一です。安全性を確保できない活動や環境は避けることを大前提としたいと思います。

そして、こうした学校づくりに向け、一つのケーススタディになりそうなのが5月下旬に予定している運動会です。実は、昨年度の間実施の時期や内容について、校内で何度も検討を重ねました。心身の面で子どもたちに負担が少なく、安全に実施できるのは？学習で身に付けた力を子どもたちが存分に発揮できるようにするには？

結論として実施の時期は大きく変えることはできませんでした。しかし、その分、内容は大きく変更しています。そして、この学校だよりをお読みになった皆様方と共有しておきたいのが、運動会の目標です。

- 1 学校教育目標「元気に運動する子」の育成を図り、**体育や特別活動等の学習の成果を楽しく発表できる運動会にする**とともに、健康や運動への関心を高める。
- 2 学校と保護者・地域の連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。
- 3 集団活動を通して、一人ひとりが規律を守ることへの自覚をもち、協働の心を育てる。

この目標は、単に運動会当日だけの成功をねらったものではなく、練習や準備を含めたプロセスを大切にしています。ですから、運動会はすでに始まっているのです。

保護者や地域の皆様にはいつも運動会当日だけでなく、その前から子ども達へのご支援等でご協力いただいております。大変助かっています。教職員は、そのおかげで生まれた時間を子どもたちへの指導や支援に費やすことができます。子どもたちも含めた私たちみんなの一つひとつの学習や作業、分担が、「子どもが育つ」「子どもを育てる」ことにつながっています。どうか、共によりよい運動会にしまいらいましょう。